

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	14. 市町村道の計画的な維持管理と震災対策による安全・安心な道路環境の確保（防災・安全）															
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、山北町、開成町、真鶴町、湯河原町、愛川町、大井町															
計画の目標	特に高度経済成長期に大量に建設された道路構造物の高齢化が進行する中、橋梁、トンネルや舗装などの道路施設の計画的な修繕を実施することで施設の長寿命化を図り、道路利用者の安全・安心を確保する。 橋梁の耐震補強、無電柱化を計画的に推進することで、災害時における安全・安心な道路環境を確保する。															
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	18,819	A	18,819	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0	%			

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(R6当初)			(R10末)
1	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上							
	横須賀市 主要道路の健全度割合 = MC15.1以上の路線数 / 主要道路路線数 × 100（%）				56%	%		70%
2	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上							
	横須賀市 道路照明施設の健全度割合 = 健全度2以上の施設数 / 全施設数 × 100（%）				91%	%		94%
3	耐震化や無電柱化が必要な施設に対し、対策を実施した割合を90%向上する							
	平塚市 橋梁耐震補強対策率 = 耐震完了橋梁数 / 要耐震化橋梁数 × 100（%）				0%	%		100%
4	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合を100%向上する							
	平塚市（第2期）舗装修繕率 = 舗装修繕実施延長 / 舗装修繕計画延長 × 100（%）				0%	%		100%
5	メンテナンスサイクルの構築による安全・安心の確保とトータルコストの縮減・平準化の両立。老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上。耐震化や無電柱化が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上。							
	鎌倉市 舗装修繕率（%） = 舗装修繕実施延長 / 舗装修繕計画延長 × 100（%）				8%	%		100%
6	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上							
	藤沢市 対策を行った舗装の打換率 = 対策を行った舗装道の打換延長 / 修繕計画により対策が必要とされる舗装道の打換延長 × 100（%）				39%	%		100%

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標(定量的指標)			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		(R6当初)			(R10末)		
7	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 小田原市 補装修繕率 = 修繕完了延長 / 要修繕延長 × 100 ( % )	20%	%	70%			
8	舗装修繕率の増加 茅ヶ崎市 補装修繕率 = 修繕を完了した延長 / 修繕予定延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
9	部品改善率の増加 茅ヶ崎市 部品の改善率 = 対応箇所 / 耐久年数超過箇所 × 100 ( % )	0%	%	100%			
10	地下道出入口屋根修繕率の増加 茅ヶ崎市 地下道出入口屋根修繕率 = 修繕を完了した面積 / 修繕予定面積 × 100 ( % )	0%	%	100%			
11	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 逗子市 補装等(修繕実施率) = 修繕済延長 / 要修繕延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
12	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 三浦市 (対策率) = (修繕済延長) / (舗装修繕が必要な道路延長) × 100 ( % )	0%	%	58%			
13	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 秦野市 (期) 補装の修繕率 = 補装の修繕を実施した延長 / 補装の修繕が必要な延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
14	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 厚木市 補装修繕率 = 修繕完了延長 / 要修繕延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
15	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 大和市 補装修繕計画対象路線におけるMC14.1以上の割合 = 補装修繕計画対象路線におけるMC14.1以上の延長 / 補装修繕計画対象路線総延長 × 100 ( % )	58%	%	75%			
16	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 大和市 道路照明施設の健全度割合 = 健全度 4 以上の施設数 / 全施設数 × 100 ( % )	14%	%	16%			

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標(定量的指標)			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		(R6当初)			(R10末)		
17	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 伊勢原市 要対策路線における舗装修繕割合 = 対策完了路線の延長 / 路面性状調査MCI 5 及び道路管理パトロールによる要対策路線の延長 × 100 ( % )	0%	%	53%			
18	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 海老名市 斜面対策率 = 対策完了斜面数 / 要対策斜面数 × 100 ( % )	0%	%	100%			
19	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 海老名市 舗装修繕率 = 舗装修繕工事実施路線数 / 舗装修繕工事計画路線数 × 100 ( % )	0%	%	100%			
20	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 座間市 舗装修繕率 = 修繕完了延長 / 要修繕延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
21	耐震化や無電柱化が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上 南足柄市 耐震化率 = 耐震化完了橋りょう数 / 耐震化計画橋りょう数 × 100 ( % )	0%	%	100%			
22	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 南足柄市 舗装修繕率 = 舗装修繕実施延長 / 舗装修繕計画延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
23	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 寒川町 寒川町舗装修繕計画に基づく町道路面破損解消率 = 町道路面破損解消路線 / 舗装修繕対象路線 × 100 ( % )	0%	%	100%			
24	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 大磯町 舗装の修繕率 = 舗装修繕実施延長 / 舗装修繕計画延長 × 100 ( % )	30%	%	60%			
25	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合が8%向上する。 二宮町 舗装補修の完了率 = R3年度調査のMCI > 4 の舗装補修済延長 / 1級・2級町道の総延長 × 100 ( % )	85%	%	93%			
26	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合を100%にする。 二宮町 斜面対策率 = 対策完了斜面数 / 要対策斜面数 × 100 ( % )	0%	%	100%			

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	(R6当初)	(R10末)	
27	修繕が必要な施設に対し、修繕等を実施した割合の向上 中井町 道路の修繕率 = 対策実施延長 / 要対策延長 × 100 ( % )	8%	%	10%			
28	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 山北町 補装修繕率 = 補装修繕実施延長 / 補装修繕計画延長 × 100 ( % )	0%	%	82%			
29	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策などを実施した割合の向上 開成町 補装修繕の完了率 = 補装修繕完了延長 / 補装修補修計画延長 × 100 ( % )	0%	%	40%			
30	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上 真鶴町 補装の修繕率 = 補装修繕実績延長 / 補装修繕計画延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
31	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 湯河原町 補装の修繕率 = 補修延長 / 補修計画延長 × 100 ( % )	0%	%	54%			
32	老朽化対策等が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 愛川町 補装の修繕率 = 修繕済路線延長 / 修繕計画対象路線延長 × 100 ( % )	0%	%	100%			
33	道路構造物の修繕が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上 平塚市 橋梁耐震補強対策率 = 耐震完了橋梁数 / 要耐震化橋梁数 × 100 ( % )	0%	%	100%			
34	老朽化対策が必要な施設に対し、対策等を実施した割合の向上 藤沢市 道路照明施設の修繕率 = 対策済み箇所数 / 要対策箇所数 × 100 ( % )	14%	%	32%			
35	耐震補強が必要な架道橋に対し、対策等を実施した割合の向上 小田原市 架道橋耐震化率 = 耐震完了架道橋数 / 耐震化計画架道橋数 × 100 ( % )	0%	%	100%			
36	耐震化が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上 秦野市 耐震化率 = 耐震化完了橋りょう数 / 耐震化計画橋りょう数 × 100 ( % )	0%	%	100%			

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	市町村	修繕	横須賀市道路照明施設点検	道路照明点検 N=4,286基	横須賀市					34	-				
	A01-002	道路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	市町村	修繕	横須賀市主要道路計画修繕事業	舗装修繕L=1.68km、路面性状調査120km、路面下空洞化調査120km、FWD調査9.0km	横須賀市					356	策定済				
	A01-003	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	市町村	修繕	平塚市橋梁耐震補強事業	耐震補強 N=5橋	平塚市					136	策定済				
	A01-004	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	市町村	修繕	平塚市舗装修繕事業（第2期）	舗装修繕 N=10箇所 修繕計画策定 111.8km 路面性状調査 111.8km 路面下空洞調査 77.4km	平塚市					80	策定済				
	A01-005	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	市町村	修繕	平塚市道路小規模付属物修繕事業	道路小規模付属物修繕・点検 平塚市道路照明灯、道路標識 N=2032基	平塚市					86	-				

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-006	道路	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	市町村道	修繕	市道022-014号線ほか2路線	舗装修繕 3路線	鎌倉市						61		-
	A01-007	道路	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	市町村道	修繕	市道062-000号線	舗装修繕 1路線	鎌倉市						27		-
	A01-008	道路	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	市町村道	修繕	舗装たわみ(FWD)調査	市道034-000号線ほか18路線	鎌倉市						7		-
	A01-009	道路	一般	藤沢市	直接	藤沢市	市町村道	修繕	藤沢市舗装修繕事業	舗装修繕 L=21,575m 路面下 空洞調査 130,000m 路面性 状調査 130,000m	藤沢市						1,959		策定済
	A01-010	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	市町村道	修繕	小田原市舗装等修繕事業	舗装修繕・FWD調査・路面下 空洞調査・道路付属物点検	小田原市						790		策定済
	A01-011	道路	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	市町村道	修繕	市道0110号線ほか9路線	舗装修繕 L=5,169m	茅ヶ崎市						1,069		-

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-012	道路	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	市町村道	修繕	駅周辺道路施設等更新	移動支援施設修繕・更新 Ev9 基, Es3基 地下道出入口屋根6 60m <sup>2</sup>	茅ヶ崎市						2,765		-
	A01-013	道路	一般	逗子市	直接	逗子市	市町村道	修繕	逗子市舗装修繕事業	舗装修繕 L=3,229m	逗子市						260		-
	A01-014	道路	一般	三浦市	直接	三浦市	市町村道	修繕	三浦市 舗装修繕事業(期)	舗装修繕 L=1,652m	三浦市						175		策定済
	A01-015	道路	一般	秦野市	直接	秦野市	市町村道	修繕	秦野市舗装修繕事業(期)	舗装修繕 L=7,910m	秦野市						860		-
	A01-016	道路	一般	厚木市	直接	厚木市	市町村道	修繕	厚木市重交通路線修繕事業	舗装修繕 L=170.7Km	厚木市						567		-
	A01-017	道路	一般	大和市	直接	大和市	市町村道	修繕	大和市舗装修繕事業(第2期)	舗装修繕延長 L=1.8km	大和市						2,130		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-018	道路	一般	大和市	直接	大和市	市町村道	修繕	大和市道路構造物維持管 理事業	道路構造物修繕 N=12箇所	大和市						116		策定済
	A01-019	道路	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	市町村道	修繕	伊勢原市舗装修繕事業	舗装修繕 9,640m、路面性状 調査 152km・舗装修繕計画 策定 152km	伊勢原市						785		-
	A01-020	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	市町村道	修繕	道路斜面地安全対策事業	自然斜面地14箇所	海老名市						257		-
	A01-021	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	市町村道	修繕	海老名市舗装修繕事業	舗装修繕 L=1,091m	海老名市						187		策定済
	A01-022	道路	一般	座間市	直接	座間市	市町村道	修繕	座間市舗装修繕事業	舗装修繕 L=3,000m	座間市						600		策定済
	A01-023	道路	一般	南足柄市	直接	南足柄市	市町村道	修繕	南足柄市道路ストック事業	道路照明灯・道路構造物の点 検N=917路線 修繕設計、修繕 工事	南足柄市						15		-

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-024	道路	一般	南足柄市	直接	南足柄市	市町村	修繕	南足柄市橋りょう耐震化事業	橋りょう耐震補強N=3橋	南足柄市					370	-				
	A01-025	道路	一般	南足柄市	直接	南足柄市	市町村	修繕	南足柄市舗装修繕事業	舗装修繕L=2.21km 舗装点検 、計画策定	南足柄市					272	-				
	A01-026	道路	一般	寒川町	直接	寒川町	市町村	修繕	寒川町舗装等修繕事業	舗装修繕 25路線 路面性状 調査 L = 165 km	寒川町					825	策定済				
	A01-027	道路	一般	大磯町	直接	大磯町	市町村	修繕	大磯町舗装修繕事業	舗装修繕 L=400m	大磯町					100	策定済				
	A01-028	道路	一般	二宮町	直接	二宮町	市町村	修繕	二宮町道路舗装修繕事業	舗装修繕 5路線、路面性状 点検、FWD調査	二宮町					228	-				
	A01-029	道路	一般	二宮町	直接	二宮町	市町村	修繕	道路斜面地安全対策事業	法面補修工事	二宮町					50	-				

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-030	道路	一般	中井町	直接	中井町	市町村道	修繕	中井町舗裝修繕事業	舗裝修繕L=7.1km・路面性状調査・FWD調査・計画策定	中井町						783		策定済
	A01-031	道路	一般	山北町	直接	山北町	市町村道	修繕	山北町舗裝修繕事業	舗裝修繕 L=585m	山北町						93		策定済
	A01-032	道路	一般	開成町	直接	開成町	市町村道	修繕	町道200号線他1路線	舗裝修繕L = 1.1km	開成町						200		-
	A01-033	道路	一般	真鶴町	直接	真鶴町	市町村道	修繕	真鶴町舗裝修繕事業	道路舗装、舗装維持管理計画策定	真鶴町						47		策定済
	A01-034	道路	一般	湯河原町	直接	湯河原町	市町村道	修繕	湯河原町舗裝修繕事業	舗裝修繕 L=3,800m	湯河原町						487		策定済
	A01-035	道路	一般	愛川町	直接	愛川町	市町村道	修繕	愛川町舗裝修繕事業	舗裝修繕 L=1,460m	愛川町						211		-

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-036	道路	一般	愛川町	直接	愛川町	市町村道	修繕	愛川町道路ストック定期点検	道路施設点検・計画策定 道路照明灯 N=17基 補装 L=6 2km 法面 N= 8 箇所	愛川町						16		-		
	A01-037	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	市町村道	修繕	道路土工構造物修繕事業	道路土工構造物 N=31箇所	平塚市						11		-		
	A01-038	道路	一般	藤沢市	直接	藤沢市	市町村道	修繕	藤沢市道路照明施設修繕事業	道路照明施設点検・修繕 N= 4385基	藤沢市						217		策定済		
	A01-039	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	市町村道	修繕	小田原市架道橋耐震補強事業	耐震補強 3 橋	小田原市						820		-		
	A01-040	道路	一般	秦野市	直接	秦野市	市町村道	改築	市道 8 6 号線電線共同溝整備	電線共同溝整備 L=100m	秦野市						72		-		
	A01-041	道路	一般	秦野市	直接	秦野市	市町村道	修繕	秦野市橋りょう耐震補強事業	橋りょう耐震補強N=6橋	秦野市						600		-		

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況		
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-042	道路	一般	大井町	直接	大井町	市町村道	修繕	舗裝修繕事業（町道4号線）	舗裝修繕820m	大井町						95	-			
																	18,819				
																	18,819				

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					